

現代日本語における漢語「正直」の副詞用法

著者	東泉 裕子, 高橋 圭子
雑誌名	言語資源活用ワークショップ発表論文集
巻	6
ページ	249-258
発行年	2021
URL	http://doi.org/10.15084/00003499

現代日本語における漢語「正直」の副詞用法

東泉 裕子 (明治大学他)

高橋 圭子 (東洋大学他)

The Sino-Japanese *shōjiki* ‘honest’ as an adverb in contemporary Japanese

Yuko Higashiizumi (Meiji University)

Keiko Takahashi (Toyo University)

要旨

本稿では、現代日本語における漢語「正直」の副詞用法の使用実態を調査し、その結果を報告する。「正直」は「正直、驚いた」のように単独で副詞として使われることがある（以下、「正直 φ」）。また、「正直(ニ)言ッテ」「正直ナ話」なども全体で副詞句・節として使用されている。本稿ではこれらを「正直」の副詞用法と呼び、その使用実態を書き言葉・話し言葉の各種コーパスに基づき調査した。結果は以下のとおりである。「正直」の副詞用法は、(i)書き言葉でも話し言葉でも広く使用されている。(ii)「正直」の全用例中、半数以上を占める。(iii)「正直 φ」「正直言ッテ」の2種類で全体の8割近くを占める。(iv)「正直 φ」以外で「正直」と共起する表現は、「言ウ」「話」など発話に関するものが大半であり、話し手がこれから述べるのが本音や本心であるという前触れのメタ言語的機能を果たしている。「正直 φ」の機能も同様である。

1. はじめに

現代日本語における漢語「正直」は、副詞として使用されることがある。例えば、国立国語研究所『現代日本語書き言葉均衡コーパス(The Balanced Corpus of Contemporary Written Japanese: BCCWJ)』や『日本語話し言葉コーパス(Corpus of Spontaneous Japanese: CSJ)』には、(1)のような用例がある¹。

- (1) a. 「正直、わかりません」と医師はさっきと逆の内容を口にした。
 【出典】BCCW, PB29_00423, 160580, 菊地秀行『紅蜘蛛男爵』, 2002年
 b. ... えーまず残したいものと聞かれた時に正直、自分凄く困りました
 【出典】CSJ, S11M1136, 530, 男 25–29歳, 収録1999–2001年

(1)のような表現を、本稿では「正直 φ」と呼ぶ。これは、話者の本音や本心を打ち明けける前触れとして用いられることが指摘されている（森本 1994: 144–146、野田 2011: 56–58、飛田・浅田 2018: 192 など）。

さらに、現代日本語の「正直」には、(2)のような用例も見出せる。

- (2) a. 「正直にいうと、とても、怖いんです。」
 【出典】BCCWJ, LBq9_00258, 35170,
 西村京太郎『日本海殺人ルート』, 2002年

¹ 以下、本稿における用例の下線は稿者による。コーパス検索アプリケーション「中納言」で検索した用例には、順に、コーパス略称、サンプルID/講演ID、開始位置、著者・発話者情報などを記す。

- b. 「おれ、正直なところ、今、ちょっと悩んでるんだ」
【出典】BCCWJ, OB1X_00073, 23630, 五木寛之『青春の門』, 1977年
- c. 正直な話、五百円という費用は実費以下です。
【出典】BCCWJ, OC14_06876, 2200, Yahoo!知恵袋, 2005年

(2a)の「正直に」は連用修飾、(2b)・(2c)の「正直な」は連体修飾の形であるが、下線部全体が副詞句ないし副詞節として用いられている。(2)のいずれの表現も、話者の本音や本心を述べる前触れとして使用されており、(1)の「正直 φ」と同じような意味・機能を担っていると考えられる²。

本稿では、(1)・(2)のような表現を「正直」の副詞用法と総称する。そして、現代日本語の各種コーパスを用いて、「正直」の副詞用法の使用実態を調査する。

2. 先行研究

2.1 「正直」の語史

ここでは、国語辞典・古語辞典・漢和辞典を参考にして、漢語「正直」の語史を調査する。「正直」の「ショウ」「ジキ」という音は呉音だという(『角川古語大辞典』、『日本国語辞典第二版』、藤堂(編)1978、増井(編)2012: 521、沖森・肥爪 2017: 10)。このことから、「正直」は古くから日本に定着していた漢語だと考えられる。11世紀以降は、名詞として、(3a)漢詩文集、(3b)説話集、(3c)仏教関連資料などの多様な漢文に出現している³。(3d)・(3e)のような連用修飾用法が現れるのは13世紀以後のことである。

- (3) a. 正直心地為^レ国界。無漏善根為^レ林叢
『日本国語辞典 第二版』本朝文粹一二・西方極楽讚〈後中書王〉(1060年)
- b. 道心は無けれども心は正直也けり
『角川古語大辞典』今昔物語集・一二・三二(12世紀)
- c. 一向に法花経を行るが真の正直の行者にては候
『仏教語大辞典』下山抄(1277年)
- d. 人がらもしゃうしきにさいはいおはします人と見たてまつれば
『日本国語辞典 第二版』あさぢが露(13世紀後半)
- e. 虚言を構へず、しゃうしきに申され候へ
『角川古語大辞典』義経記・六(室町時代、成立年不詳)

『日本国語辞典 第二版』によると、「正直 φ」の初出は次の(4)であり、19世紀以降のようである。語釈は、「気持や行動が偽りや見せかけでないさまを表わす語。本当のところ。」とされている。

- (4) しかし正直未練が残るぜ。此美しい顔が見おさめだと思やア
『日本国語辞典 第二版』人情本・英対暖語四・二三章, 1838年

² 野田(2011: 58)は『正直』は感情の吐露に、『正直言って』は本音の判断に、よりなじむようであると述べているが、本稿ではこのような違いには立ち入らない。

³ 漢語は基本的に名詞として日本語に受け入れられ、その後、副詞としての用法を獲得することが多いという(鳴海 2015、沖森・肥爪 2017)。

(1)・(4)のような「正直 φ」の用法については、現代語の国語辞典(『岩波国語辞典 第八版』、『三省堂国語辞典 第七版』、『デジタル大辞泉』、『大辞林 第四版』、『広辞苑 第七版』など)にも記述されている。

また、前田(1983)、趙(2013)、鳴海(2015)などでは、漢語が名詞から副詞用法を獲得する過程が調査されている。

2.2 現代語における「正直」の副詞用法

現代日本語では「正直 φ」が副詞として用いられることは、坂梨(2011)、三枝(2013)、工藤(2016)などにも指摘がある⁴。工藤(2016)は、「文の叙法性に関わりをもつ副詞」(p. 11)を「叙法副詞」と名付け、「正直(言って)」をそのひとつとして取り上げている。「叙法性」とは「話し手の立場からする、文の叙述内容と現実および聞き手との関係づけの文法的表現」(p. 8)である。

野田(2011)は、『CD-毎日新聞 2009 データ集 本社版』を主な資料として漢語副詞を調査し、「正直」については次の3点を指摘している⁵。(i)「正直 φ」は話し手の感情や本音を述べる際に広く使用されている。(ii)「正直 φ」は「正直(に)言うと」他の表現と同様、発言の引用部分によく現れる。(iii)「正直 φ」は「正直(に)言うと」などの他の表現に比べて出現数が多く、話し言葉的な文で用いられる副詞としてかなり定着している。(5)は、野田(2011)による「正直 φ」の例である。

- (5) 処罰感情を問われ、「正直、死刑にしてほしいです。でも、まず無理なんで、無期懲役とか。一生刑務所の中で終わるくらいの刑で入ってほしいです」。青のハンカチで目を何度もぬぐった。(2009年8月5日、社会面) (野田 2011: 56)

本稿では、先行研究の調査データ以外の、先行研究で調査されていない現代日本語の各種コーパスを用いて、(1)・(2)に挙げたような「正直」の副詞用法を観察する。

3. 現代語における漢語「正直」の用法

3.1 『現代日本語書き言葉均衡コーパス(BCCWJ)』における「正直」

コーパス検索アプリケーション「中納言」(バージョン 2.4.5)を用い、国立国語研究所『現代日本語書き言葉均衡コーパス(The Balanced Corpus of Contemporary Written Japanese: BCCWJ)』(データバージョン 2020.02)を検索した。短単位検索モードを使い、語彙素読み「ショウジキ」で検索し、4170例を得た。その後、目視で確認し、固有名詞、重複する用例、前後の文脈が不明の用例、語釈の一部に使われた用例を除去し、最終的に4130例を分析対象とした。

表1は、「正直」の用法をBCCWJのレジスターごとにまとめたものである⁶。

⁴ 三枝(2013)は現代語における漢語の副詞化・接続詞化の事例のひとつとして「正直 φ」を取り上げている。

⁵ 野田(2011)は自然談話データ(現代日本語研究会(編)1997, 2002)も参考のために調査している。このデータは、現在『現日研・職場談話コーパス』としてコーパス検索アプリケーション「中納言」でも検索することができる。本稿でも第3節で使用する。

⁶ LRW2021において、長谷川守寿氏より、BCCWJを書き言葉の例とするならば、引用文は外したほうがよいのではないかというご指摘があった。岡田翔平氏からは、国会会議録検索システムを利用すれば、同一のレジスターで経年変化を観察することができることをご教示いただいた。新野直哉氏からは「本当言ウト」「ブッチャケ(テシマウト)」「マジ(ナ話)」など、「正直」の副詞用法と関連する表現を多数ご教示い

表1 BCCWJにおける「正直」の用例数

サブコーパス	レジスター	副詞用法						副詞用法以外		合計
		「正直 φ」		「正直 φ」以外		計		用例数	割合(%)	
		用例数	割合(%)	用例数	割合(%)	用例数	割合(%)			
出版	雑誌	47	29.6	39	24.5	86	54.1	73	45.9	159
	書籍	130	16.0	251	30.9	381	46.9	431	53.1	812
	新聞	7	36.8	4	21.1	11	57.9	8	42.1	19
図書館	書籍	88	8.3	348	32.7	436	41.0	628	59.0	1,064
特定目的	ブログ	498	67.8	81	11.0	579	78.9	155	21.1	734
	ベストセラー	9	4.5	78	39.0	87	43.5	113	56.5	200
	韻文	0	0.0	1	100.0	1	100.0	0	0.0	1
	教科書	0	0.0	0	0.0	0	0.0	21	100.0	21
	広報誌	5	45.5	0	0.0	5	45.5	6	54.5	11
	国会会議録	12	8.7	90	65.2	102	73.9	36	26.1	138
	知恵袋	587	60.5	106	10.9	693	71.4	277	28.4	970
	白書	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	1
	法律	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
合計		1,383	33.5	998	24.2	2,381	57.7	1,749	42.3	4,130

表1から読み取れるBCCWJにおける「正直」の副詞用法の特徴を(6)にまとめる。

- (6) a. 「正直」の副詞用法は、「正直」の全用例数の半数以上(57.7%)を占める。
 b. 「正直」の副詞用法は、「ブログ」(78.9%)、「国会会議録」(73.9%)、「知恵袋」(71.4%)で使用される割合が高い。
 c. 「正直」の副詞用法のうち、「正直 φ」は、「ブログ」(67.8%)、「知恵袋」(60.5%)といった話し言葉に近い書き言葉で使用される割合が高い。
 d. 「正直」の副詞用法のうち、「正直 φ」以外の表現は、話し言葉の記録である「国会会議録」(65.2%)で使用される割合が高い。
 e. 「正直」の副詞用法は、「出版・雑誌」(54.1%)、「出版・書籍」(46.9%)、「図書館・書籍」(41.0%)、「特定目的・ベストセラー」(43.5%)などの雑誌や書籍でも多数使用されている。

ただいた。いずれも、今後の課題としたい。

(6b)～(6d)をまとめると、「正直」の副詞用法は、書き言葉の中では話し言葉に近いとされるレジスターで多用されているということがわかる。また、(6c)の「正直 φ」について、野田(2011)は話し言葉的な文で用いられる副詞として定着していると指摘しているが、BCCWJにおいても、話し言葉的な文が多用されるレジスター「ブログ」「知恵袋」での使用の割合が高いことがわかった。

表2は、「正直」の副詞用法2381例について、各表現の用例数順に並べたものである⁷。

表2 BCCWJにおける「正直」の副詞用法

順位	用例	用例数	割合(%)
1	正直 φ	1,383	58.1
2	正直言ッテ	418	17.6
3	正直ナトコロ	219	9.2
4	正直ニ言ッテ	66	2.8
5	正直ナ話	47	2.0
6	正直ニ言エバ	30	1.3
7	正直言ウト	28	1.2
7	正直ニ言ウト	28	1.2
8	正直ノトコロ	23	1.0
9	正直申シ上アゲマシテ	11	0.5
10	正直言エバ	10	0.4
	その他	118	5.0
	合計	2,381	100.0

表2の「正直」の副詞用法のうち、最も多いのは「正直 φ」(58.1%)である⁸。次に多いのは「正直言ッテ」(17.6%)であり、この2つで「正直」の副詞用法の75.7%を占める。第3位は「正直ナトコロ」(9.2%)だが、第4位以下の用法は3%以下で、「正直」の副詞用法全体に占める割合は高くない。(7)に表2の上位3位までの例を示す。

- (7) a. 試合内容は正直四十点くらいです…、文句言って申し訳ない。
 【出典】BCCW, OC06_03998, 1260, Yahoo!知恵袋, 2005年
- b. どっちも似てるので正直いって区別が付きませんっ。
 【出典】BCCWJ, OY05_01123, 3590, Yahoo!ブログ, 2008年
- c. それから正直なところ、…和解の場に着けるとい場合もございます。
 【出典】BCCWJ, OM34_00001, 239590, 国会会議録, 第104回国会 1986年

⁷ 以下、用例の表記は漢字カナ交じりを総称として用いる。実際の用例は、漢字の部分のみがひらがな表記のものもある。

⁸ 「正直 φ」の100万語あたりの調整頻度は13.2であった。調整頻度は「記号・補助記号・空白を除いた検索対象語数」104,911,460語を元に算出した。金澤(編)(2020: 6)によれば、Biber et al. (1999)は語結束(lexical bundles)を検出する際にBritish National Corpus内での出現頻度が100万語あたり10回以上を高頻度連鎖の基準にしたという。「正直 φ」は、Biber et al. (1999)の語結束や金澤(編)(2020)の2語以上の語彙からなるフォーミュラではないが、100万語あたり10回以上という基準に照らし合わせると、高頻度で使用されている表現だと言ってもよさそう。

第2位の「正直言ッテ」(17.5)と第4位の「正直ニ言ッテ」(2.8%)に注目すると、「正直+言ッテ」の場合、「ニ」を伴わない「正直言ッテ」のほうが多用されることがわかる。また、表2から、「正直」の副詞用法には「正直」と動詞「言う」の組み合わせの表現が多いことも読み取れる。「言う」の他に、BCCWJでは「申ス」「申シ上ゲル」「話ス」「白状スル」「報告スル」などの発話動詞も使われていた。さらに、第5位の「正直ナ話」の「話」という名詞も同じく発話に関する語である。「正直」は、発話に関する語と共起し、話者の本音や本心を打ち明ける前触れというメタ言語的機能を果たしている。同様に、「正直 φ」はこのような発話に関する語を伴わずに、メタ言語的機能を果たしている。

3.2 現代語の話し言葉のコーパスにおける「正直」

表3は、現代語の話し言葉の調査に本稿で用いたコーパスである。いずれのコーパスも国立国語研究所コーパス開発センターによる。対話・会話の「検索対象語数」は、独話に比べ、少ないことから、以下では、必要に応じて、表3のコーパスを独話と対話・会話とに分けて分析することにする⁹。

検索は、3.1節のBCCWJと同じ方法で行った。コーパス検索アプリケーション「中納言」(バージョン2.4.5)を利用し、短単位検索モードを使って語彙素読み「ショウジキ」で検索した。その後、目視により確認したが、除外対象の用例はなかった。検索は、SSCは2021年7月に、それ以外は2021年1月に行った。

表3 調査対象の話し言葉のコーパス

コーパス名	データバージョン	「中納言」バージョン	収録年	形態	検索対象語数 ¹⁰	用例数
日本語話し言葉コーパス (Corpus of Spoken Japanese: CSJ)	2020.03	2.4.2	1999–2001	独話	7,142,748	135
				対話	150,498	6
昭和話し言葉コーパス (Showa Speech Corpus: SSC) (丸山他 2021)	2021.03	2.4.5	1955–1974	独話	180,272	1
				1952–1969	会話	348,317
現日研・職場談話コーパス (Gen-Nichi-Ken Corpus of Workplace Conversation: CWCP) (現代日本語研究会(編) 2011)	2018.03	2.4.2	1993–2000	会話	186,906	9

⁹ 参考のために、現代日本語研究会(編) (2016)『談話資料 日常生活のことば』も調査した。収録年は2011年–2014年、収録時間は合計1,058分である。文字列検索で「正直」「しょうじき」を検索した。得られた全9例のうち、「正直」の副詞用法は7例(「正直 φ」5例、「正直イッテ」2例)、副詞用法以外は2例である。

¹⁰ 「検索対象語数」は、記号・補助記号・空白を除いた数値である。

名大会話コーパス(Nagoya University Conversation Corpus: NUCC) (藤村他 2011)	2018.02	2.4.2	2001–2003	会話	1,131,971	6
日本語日常会話 コーパス (Corpus of Everyday Japanese Conversation: CEJC) モニター公開版 (小磯他 2020)	2018.12	2.4.5	2014–2015	会話	610,959	10

表4は、「正直」の用法を、独話と対話・会話とに分けてまとめたものである。表4から読み取れる「正直」の用法の特徴は、「正直」の副詞用法が全用例数の半数以上(62.9%)を占めることである。特に、対話・会話では、全用例数の79.5%であった。(6a)で述べたように、BCCWJでも「正直」の副詞用法は半数以上(57.7%)であった。現代日本語では、話し言葉においても書き言葉においても、「正直」の副詞用法が広く使われていることがうかがわれる。

表4 現代語の話し言葉のコーパスにおける「正直」の用例数

形態	副詞用法						副詞用法以外		合計
	「正直 φ」		「正直 φ」以外		計		用例数	割合(%)	
	用例数	割合(%)	用例数	割合(%)	用例数	割合(%)			
独話	17	12.5	62	45.6	79	58.1	57	41.9	136
対話・会話	10	25.6	21	30.9	31	79.5	8	20.5	39
合計	27	15.4	83	47.4	110	62.9	65	37.1	175

表5は、「正直」の副詞用法110例について、各表現の用例数順に並べたものである。

表5 話し言葉のコーパスにおける「正直」の副詞用法

順位	用例	用例数	割合(%)
1	正直言ッテ	56	50.9
2	正直 φ	27	24.5
3	正直言イマシテ	6	5.5
3	正直ナトコロ	6	5.5
4	正直言ウト	4	3.6
4	正直ナ話	4	3.6
	その他	7	6.4
	合計	110	100.0

表 5 から、話し言葉のコーパスにおける「正直」の副詞用法の中で、最も多く使用されるのは「正直言ッテ」(50.9%)で、約半数を占めることがわかる。その次に多いのは「正直 φ」(24.5%)であり、この 2 つで「正直」の副詞用法の 75.4%を占める。表 2 で見たとおり、BCCWJ の場合は、上位 1 位の「正直 φ」(58.2%)と 2 位の「正直言ッテ」(17.5%)を合わせて 75.7%であった。順位は入れ替わっているものの、この 2 つの表現が計 75%以上使用されているという点は書き言葉と話し言葉のコーパスの双方に共通している。(8)は表 5 の上位 3 位までの例である¹¹。

- (8) a. いやね、終わるとほっとしますよ、やっぱり、正直いって
【出典】CWCP, F10A051, 670, 男 38 歳, 収録 1993 年
- b. それは銀行には正直痛いよね、きっと。
【出典】NUCC, data036, 185980, 女 60 代前半, 収録 2001–2003 年
- c. ショ正直正直言いましてねあの別のを考えたんです
【出典】SSC, C60_02_CT, 21860, 会話, 男 年齢 NA, 収録 1960 年
- d. 嫌な人ばかりと付き合ってますよ正直なところ
【出典】SSC, C57_23_CT, 84180, 会話, 男 70–74 歳, 収録 1957 年

また、BCCWJ には「正直言ッテ」の他に、「ニ」を伴う「正直ニ言ッテ」という用例もあったが、話し言葉のコーパスには皆無であった。副詞用法で「ニ」を伴うものは、話し言葉のコーパスの中では「正直に申し上げますと」1 例が、独話に見出されるのみであった。話し言葉のコーパスにおける「正直」の副詞用法は「ニ」を伴わないものがほとんどであることが確認できた。

3.3 まとめと考察

ここまで、現代日本語の各種コーパスを用いて、「正直」の副詞用法の使用実態を調査し、次のようなことがわかった。

- (9) a. 「正直」の副詞用法は、BCCWJ においても、話し言葉のコーパスにおいても広く使用されている。
- b. 「正直」の全用例中、半数以上を副詞用法が占めている。
- c. 「正直」の副詞用法で多用されている表現は「正直 φ」「正直言ッテ」であり、この 2 種類で全体の 8 割近くを占めている。
- d. 「正直 φ」以外の副詞用法で、「正直」と共起する表現は、「言う」「話」など発話に関するものであり、話し手がこれから述べるのが本音や本心であるという前触れのメタ言語的機能を果たしている。「正直 φ」の機能も同様である。

趙(2013)は、近現代における漢語副詞の特徴として、次のような点を挙げている。(i) 命題の外側から働く〈陳述の副用語〉には、助詞を伴わない φ 型の漢語副詞が多い。(ii) 近現代語の完成期(1960 年以降)には、φ 型を含め、「厳密にいうと(いえば)」「正直にいうと(いって、いえば)」「率直にいうと」「端的にいうと」「正確には」などの話者の述べ方に関わる

¹¹ (8c)の「正直正直言いまして」は「正直言イマシテ」1 件として数えた。(8)の用例に見られるように、話し言葉では「正直」の副詞用法は発話のさまざまな位置で使われていること、ヘッジとして使用されている例もあることなどを遠藤智子氏よりご指摘いただいた。これらの点は稿を改めて論じたい。

漢語副詞の使用が増加する¹²。

本稿で調査した「正直」の副詞用法も、趙(2013)の指摘と軌を一にする。すなわち、「正直」の副詞用法は話し手がこれから述べるのが本音や本心であるという前触れのメタ言語的機能を果たしており、工藤(2016)のいう「叙法副詞」、趙(2013)のいう「命題の外側から働く〈陳述の副用語〉」に該当する。そして、「正直 φ」という「ニを伴わない φ 型」や、「正直(ニ)言ッテ」「正直ナ話」など、「話者の述べ方に関わる漢語副詞」の使用例が、本稿の調査においても「正直」の用例全体の半数以上を占めている。

漢語名詞が副詞用法に拡張している例は、「事実」(柴崎 2017)、「結果」(高橋・東泉 2018)、「一体」(稲田 2007)など枚挙にいとまがない。さまざまな語の共通点とそれぞれの語の個別のふるまいとを、丹念に観察・記述していく必要がある。

4. おわりに

本稿では、漢語「正直」の現代語コーパスにおける用例を副詞用法に焦点をあてて、調査した。その結果、現代日本語の「正直」は副詞用法がそれ以外の用法より多用されていることが明らかとなった。

「正直」については、今後は次のような課題に取り組む必要があるだろう。(i) 今回の調査から、書き言葉と話し言葉では、使用される「正直」の副詞用法の表現に違いがあることがわかったが、その理由を考察すること。(ii) BCCWJにおいて、レジスターによって使用される「正直」の副詞用法の形式にどのような違いがあるか調査し、その理由を考察すること。(iii) 話し言葉のコーパスにおいて独話と対話・会話で使用される「正直」の副詞用法にどのような違いがあるか調査し、その理由を考察すること。(iv) 「正直」の副詞用法の成立過程を探ること。(v) 現代日本語における他の漢語と「正直」の用法の異動を探ること。(vi) 中国語や韓国語など漢字文化圏における漢語のメタ言語的機能について探ること。

「正直」の用法自体のさらなる探究だけでなく、他の似たような機能をもつ表現や他の漢語由来の副詞との関連など、今後の課題は多い。さらなる研究に努めたい。

謝 辞

LRW2021 において多数の有益なコメントをお寄せくださった皆様に感謝申し上げます。なお、本研究は PSPJ 科研費 19K00693、20K00650 の助成を受けています。

文 献

- 稲田奈緒美 (2007) 「副詞『一体』の歴史的変遷」『国文研究』52, pp. 40–50. 熊本女子大学国文談話会
 沖森拓也・肥爪周二 (2017) 『漢語』朝倉書店
 金澤佑(編) (2020) 『フォーミュラと外国語学習・教育 定型表現研究入門』くろしお出版
 工藤浩 (2016) 『副詞と文』ひつじ書房
 現代日本語研究会(編) (1997) 『女性のことば (職場編)』ひつじ書房
 現代日本語研究会(編) (2002) 『男性のことば (職場編)』ひつじ書房
 現代日本語研究会(編) (2011) 『合本 女性のことば・男性のことば (職場編)』ひつじ書房

¹² 趙(2013)が調査した近現代語の形成期(1868年から約20–30年)のデータには、「正直に白状してしまうが」(夏目漱石『坊ちゃん』)の1例しか見当たらなかった、ということである(p. 230)。

- 現代日本語研究会(編) (2016) 『談話資料 日常生活のことば』 ひつじ書房
- 小磯花絵・天谷晴香・居關友里子・白田泰如・柏野和佳子・川端良子・田中弥生・伝康晴・西川賢哉 (2020) 「『日本語日常会話コーパス』モニター版の設計・評価・予備的分析」『国立国語研究所論集』 18, pp. 17-33. 国立国語研究所
- 三枝令子 (2013) 「名詞から副詞、接続詞へ」『一橋大学国際教育センター紀要』 4, pp. 49-61. 一橋大学
- 坂梨隆三 (2011) 「『おられる』の補遺と『ある意味』『ある種』の用例一付、『結果』『正直』」『帝京日本文化論集』 18, pp. 1-33. 帝京大学日本文化学会
- 柴崎礼士郎 (2017) 「談話構造の拡張と構文化について—近現代日本語の「事実」を中心に」加藤重広・滝浦真人編『日本語語用論フォーラム 2』 pp. 107-13. ひつじ書房
- 高橋圭子・東泉裕子(2018) 「名詞『結果』の用法の拡張：近代語および現代語コーパスの用例より」『社会言語科学』 21:1, pp. 255-270. 社会言語科学会
- 趙英姫 (2013) 「近現代の漢語副詞の成立」野村雅昭 (編)『現代日本漢語の探究』 pp. 214-233. 東京堂出版
- 鳴海伸一 (2015) 『日本語における漢語の変容の研究：副詞化を中心として』 ひつじ書房
- 野田春美 (2011) 「新聞における漢語副詞の“ゆれ”」『人文学部紀要』 21, pp. 45-63. 神戸大学文学部
- 藤村逸子・大曾美枝子・大島デイヴィッド義和 (2011) 「会話コーパスの構築によるコミュニケーション研究」藤村逸子・滝沢直宏 (編)『言語研究の技法：データの収集と分析』 pp. 43-71. ひつじ書房
- 前田富祺 (1983) 「漢語副詞の変遷」国語語彙史研究会(編)『国語語彙史の研究 四』 pp. 189-231. 和泉書院
- 森本順子 (1994) 『話し手の主観を表す副詞について』 くろしお出版
- 丸山岳彦・西川賢哉・田嶋明日香・小磯花絵 (2021) 「『昭和話し言葉コーパス』の設計・構築と分析(2)：コーパスの構成とメタデータの設計」『言語処理学会第27回年次大会発表論文集』 pp. 86-90.
- Biber, Douglas, Stig Johansson, Geoffrey Leech, Susan Conrad, Edward Finegan (1999) *Longman Grammar of Spoken and Written English*. Harlow: Longman.

辞書・辞典

- 新村出(編) (2018) 『広辞苑 第七版』 岩波書店
- 藤堂明保(編) (1978) 『学研漢和大辞典』 学習研究社
- 西尾実他(編) (2019) 『岩波国語辞典 第八版』 岩波書店
- 飛田良文・浅田秀子 (2018) 『現代副詞用法辞典 新装版』 東京堂出版
- 増井金典(編) (2012) 『日本語源広辞典 増補版』 ミネルヴァ書房
- 松村明(編) (2019) 『大辞林 第四版』 三省堂
- 見坊豪紀他(編) (2020) 『三省堂国語辞典 第七版』 三省堂

関連 URL

- コーパス検索アプリケーション『中納言』 <https://chunagon.ninjal.ac.jp/>
- JapanKnowledge Lib <https://japanknowledge.com/library/>
- 『角川古語大辞典』『デジタル大辞泉』『日本国語辞典 第二版』『仏教語大辞典』